

令和6年度宮城県献血推進協議会議事録

令和7年2月3日午後1時30分から、宮城県行政庁舎特別会議室において、令和6年度宮城県献血推進協議会を開催した。

司会

ただ今から「令和6年度宮城県献血推進協議会」を開催いたします。

はじめに、定足数及び議事の公開について、御報告させていただきます。

本協議会条例第4条第2項において「委員の半数以上が出席しなければ開くことができない」と規定されています。

本日は委員18名に対し、11名の委員に御出席いただいていることから、会議が有効に成立していることを申し上げます。

また、本協議会は宮城県情報公開条例により公開を原則としていますので、公開で進めさせていただきます。

会場にて出席されている委員の皆様にございます。

録音内容を自動で文書化するシステムを活用し、本協議会の議事録を作成しておりますので、御発言の際は、お手数ですが挙手の上、事務局員がお届けするマイクを御使用願います。

次に、オンラインで出席されている委員の皆様にご3点お願いがございます。

1点目。議事進行中は「マイクをミュート」に、また、「画像をオン」にしてください。

2点目。議事進行中、「音声聞こえにくい」「画像に乱れが生じている」といった御連絡はチャット機能を使用して事務局あてお知らせください。

3点目。各議事において、質疑応答の時間を設けます。質問がございましたら、「挙手ボタン」を押してください。事務局または議長からお声がけいたしますので、その後、音声を「オン」にして発言願います。

本日の会議はタブレット端末を用いてペーパーレスで行います。操作方法について御説明しますので、会場の皆様はお手元に配布したタブレットを御覧ください。オンライン出席の委員の皆様は、申し訳ありませんが少々お待ちください。

タブレット端末上に会議資料が一覧表示されており、タップすると資料が開きます。試しに、一番上の「1_次第・名簿」を押してみてください。

皆様、資料は開けましたでしょうか。画面を指で右から左へスライドするとページが進み、左から右へスライドするとページが戻ります。会議資料一覧の画面に戻る場合は、左上の「戻る」をタップしてください。

タブレットの不具合や、操作が分からない場合は事務局員が説明いたしますので、恐れ入りますが挙手でお知らせください。

なお、事務局が説明する際は、皆様の画面を同期させていただき、自動で資料が表示されますので、特段の操作は不要です。

また、説明が終わるごとに同期を解除しますので、質疑等の際は御自由に資料を御覧ください。

それでは、開会に当たりまして、張替会長から御挨拶を頂戴します。

会長 【あいさつ】

司会 続きまして、宮城県保健福祉部薬務課長の千田から御挨拶を申し上げます。

薬務課長 【あいさつ】

司会 次に、新たに御就任いただいた委員の皆様を御紹介します。
一般社団法人宮城県経営者協会 専務理事 飯野委員でございます。
宮城県赤十字血液センター所長 鈴木委員でございます。
日本赤十字社宮城県支部 事務局長 千葉委員でございます。
なお、仙台市健康福祉局保健所長 荒井委員は、本日所用により欠席でございます。

本協議会条例第4条第1項の規定により、議事の進行につきましては、張替会長にお願いしたいと存じます。

会長 それでは、議事の前に、議事録署名委員を指名させていただきます。本日は佐々木委員、飯野委員のお二人にお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

議事（１）「令和５年度献血実績及び献血推進実績について」、事務局より説明願います。

事務局 【説明】

（薬務課）

会長 ただいまの説明につきまして、御質問・御意見等はございませんか。

各委員 【質疑等なし】

会長 御意見・御質問がないようですので、次の議事に移ります。

続きまして、議事（２）「令和６年度献血実施状況及び献血推進状況について」、事務局より説明願います。

事務局 (薬務課及び 血液センター) 会長	【説明】 ただいまの説明につきまして、御質問・御意見等はございませんか。
佐々木委員	令和6年11月に宮城県教育庁保健体育安全課から県立高校に対して、年1回は献血バスによる献血、献血バス見学会、献血セミナーのいずれかを実施するよう依頼文書を送付したとあります。高校への移動バス集団献血というのは、それをきっかけに、その後の献血につながるということもあり、とても大切なことだと思っておりますが、この依頼文書を送付したことで、高校からどのような反応があったのかお聞きしたいと思っております。また、高校三年生が対象かと思っておりますが、受験という大事な時期を控えているので、親としては体調を崩さないかという心配もあります。学校や親の反応はどうかということもお聞きしたいと思っております。
事務局 (薬務課)	まず1点目、学校からの反応についてですが、県立高校の全日制と定時制77校に文書で依頼を行った結果、28校から実施の希望があり、15校は既に実施済、残りの34校からは年度内の実施は難しいということで回答がありました。 実施状況については、血液センターで各学校と調整をしながら実施しているところでございます。11月の依頼だったため、冬休みや春休みに入ってしまうということで、年度内の実施に結びつかないところも一定数発生はしておりますが、そういった学校は来年度実施いただくなどで引き続き学校と調整をしていただいているところでございます。 2点目、三年生の今回受験を控える生徒さんもいらっしゃるということで、学校と保護者の方の反応はどうかという質問です。まず学校からは、学校のスケジュールの中で実施できるかということや、受験生や成長期のお子さんということで少し心配される学校もありました。そのような学校に対しては、必ずしも献血に協力いただくだけではなく、セミナーや献血バスの見学を通じて関心を持っていただくということも目的の一つとしておりますので、学校の日程の都合や生徒さん一人一人の学業のスケジュールというものにもきちんと配慮しながら対応をさせていただきます。
佐々木委員	ありがとうございました。
会長	他に御意見・御質問がないようでしたら、次の議事に移ります。 続きまして、議事(3)「令和7年度献血推進計画(案)」について、事務局より説明をお願いします。
事務局 (薬務課及び 血液センター) 会長	【説明】 ただいまの説明につきまして、御質問・御意見等はございませんか。

各委員	【質疑等なし】
会長	それでは、御質問等がないようですので、「令和7年度献血推進計画（案）」につきましては、事務局案のとおり承認することに御異議はございませんか。
各委員	【異議なし】
会長	では、案のとおり決定することといたします。 次に、議事（４）「第６１回献血運動推進全国大会の開催について」、事務局より説明をお願いします。
事務局 （薬務課）	【説明】
会長	ただいまの説明につきまして、御質問・御意見等はございませんか。
各委員	【質疑等なし】
会長	よろしいでしょうか。それでは、大会の成功をお祈りしております。 御用意した議事については以上となりますが、皆様から何かございませんか。
佐々木委員	献血ルームのことをお聞きしたいです。以前、献血ルームが新しくなった時に見学させていただきましたが、託児室があつて、子連れでも安心して子供が遊んでいる間に献血ができて良いと感じました。他県では、保育室で見守るスタッフがいて、家族で安心して献血に参加できるような呼びかけをしているという話を聞きました。小さい時から親が献血している姿を見ることで、それをきっかけに大きくなったら自分も献血をしたいと考えるようになるといいなと思いましたので、親子連れでの利用があるのかお聞きしたいです。
事務局 （血液センター）	宮城県内に二箇所献血ルームがございますが、仙台駅前にある献血ルームアエル２０にはキッズスペースがないため、キッズスペースがあるのが、一番町四丁目にある杜の都献血ルームＡＯＢＡという献血ルームになります。 実際、お子さん連れで献血にお越しいただく方がどれぐらいかということ、統計的な数字は取っていないのですが、休日になりますと、小学校低学年から幼稚園の年長さんぐらいのお子様を連れてきて、キッズルームで遊んでいる間に献血をしていただくという親子連れの方をかなりの頻度で見かけました。以前は、ボランティアの方がキッズスペースでお子さんを見ていただくということもありましたが、そちらのボランティアの方も、二年前ぐらいに来られなくなってしまったので、今はキッズスペースでお子様の面倒を見られるスタッフは常駐していないというのが現状です。ですので、献血にご協力いただく家族連れの方には、基本的に一人で遊べる子供のみということで、開放させていただいています。

佐々木委員	ありがとうございました。
会長	その他にご発言ないようでしたら、以上で献血推進協議会の議事を終了したいと思います。 事務局に進行をお返しします。
司会	張替会長、議事進行いただきありがとうございました。 これをもちまして、令和6年度宮城県献血推進協議会の一切を終了いたします。皆様、大変お疲れ様でした。

審議内容を明確にするため、議事録署名人が署名した。

署名人

署名人
